

## はじめに

上尾市農業振興検討会議は、『みんなが輝く街、上尾』を実現するべく行政サービスの向上を図ることを目的として始まった、上尾市政策企画提案制度(平成30年度)により採択された事業です。

同会議では、本市において、実践的かつ効果的な農業政策を推進するため、市内農業者や、農業支援機関等からの意見を聴取するとともに、農業者のニーズに合った農業施策等について検討を行うために発足しました。

令和3年度は、テーマとしての「付加価値」について議論をすすめ、農業部門における付加価値について、概念や、販売方法、イベントの開催、地産地消、PR 等の考えられる様々な視点の中から、主体性をもって前向きに取り組める提案内容となるよう検討をすすめてきました。

ここに、検討内容を提言書として、ご報告させていただきますとともに、今後の上尾の農業が発展的で、より良いものになりますよう、施策等による積極的な取組みを希望いたします。

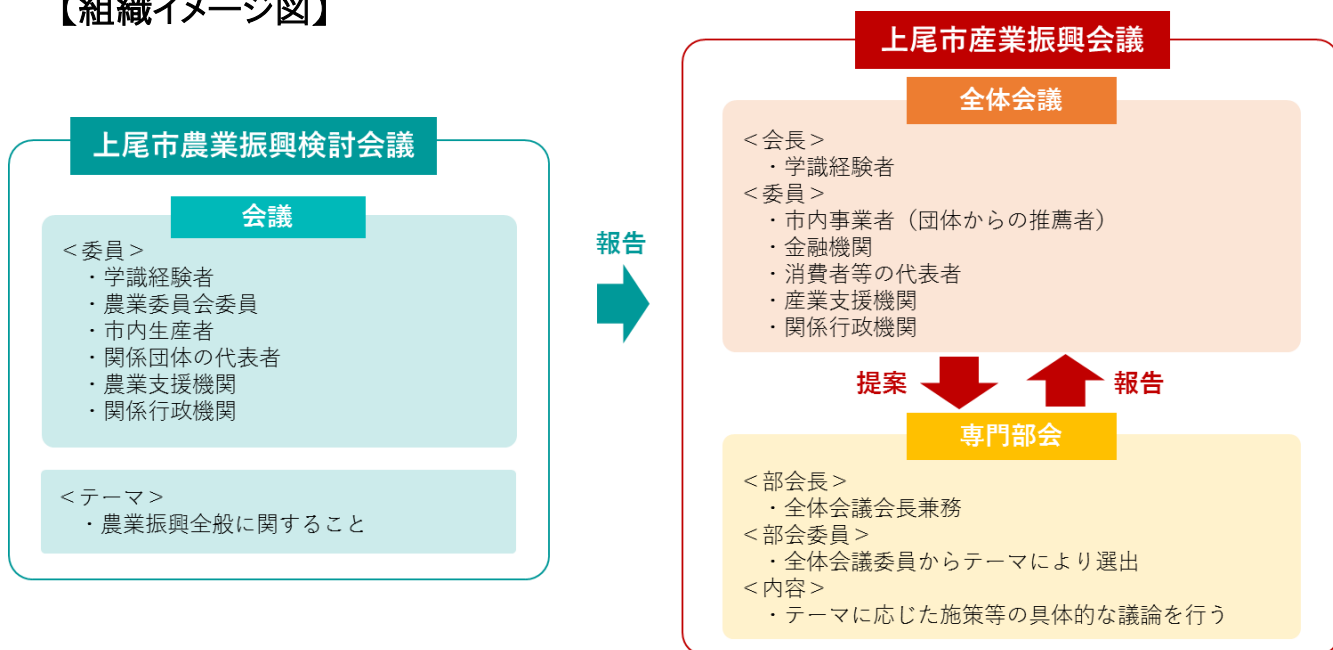
令和3年8月

上尾市農業振興検討会議

# 1 上尾市農業振興検討会議について

上尾市農業振興検討会議は、農業者や農業委員会、支援機関、行政などから委員を選出し、農業を取り巻く課題をふまえ、今後の方向性や取り組み等に関する意見交換(聴取)を行う場です。

## 【組織イメージ図】



## 2 上尾市の農業が抱えている問題点について

### (1) 統計から見る課題

- ・農家数、経営耕地面積の減少
- ・農産物販売金額規模の減少
- ・農業従事者の高齢化、後継者不足

### (2) 委員から見る課題

- ・農業者の高齢化・後継者不足により耕作放棄地が増えている
- ・農業収入だけで生活することは大変
- ・生産性のある農地が少ない
- ・新規就農者を含め、農業者が相談できる窓口がない
- ・市街化農地では、相続税や固定資産税の納税が重荷になっている
- ・大規模経営できる農地が少ない
- ・新規就農者に対する就農支援
- ・直売所へ出店するハードルが高い
- ・農業を始めたくても初期投資にお金がかかる
- ・農産物をブランド化し付加価値をつけていくことが大事
- ・上尾市のメリット(都市近郊)を生かした農業ができていないのではないか
- ・継続性のある農業施策の立案が困難
- ・農業を始めるときにサポートする体制づくり
- ・貯蔵・出荷調整施設の確保
- ・上尾産の農産物を二次加工し付加価値のあるものを作り出す



これらの意見を踏まえて・・・

テーマ 『人』 ・ 『付加価値』 について政策を検討。

※ 『人』については、平成31年度に提言しました。

## テーマ『付加価値』への提案

### 概 念

- ・ 地域アイデンティティ(=地域の独自性(上尾市の魅力=上位の差別化)を高め表現することにより、その地域の活性化を図る)の確立
- ・ 何に?どのような?設計をキチンと明確にするべきでは?設計が決まれば価値伝達はどの様にどういった手段で実施するのか  
(仮説)日付、期間、媒体、人工の取り決め(実行)、どうだったのか?予想との差異(検証)、反省からの次の手へ(反省)一連の流れで育成していく

### ブランド化・6次産業化

- ・ 新鮮であること
- ・ 生産性が高く、手を加えた希少性のある農作物
- ・ 上尾の特産品を指定し、生産者、農政課、農協・県が一体となり、品質を安定させ、上尾〇〇として売り出す
- ・ 特産品として指定した農産物のブランド化と、そのための研究会の設立及び商品の調査
- ・ ブランド価値のある農産物等の商品化
- ・ 年間を通して販売できる加工品をつくる
- ・ 取組む農業者を支援する

### 地産地消

- ・ 上尾の農産物を多くの人に知ってもらう
- ・ 地産地消と安定供給体制作りを兼ねて学校給食の食材として地元の農畜産物を供給する(教育委員会とJAとの連携)
- ・ 気軽に購入できるような工夫、集客力のある場所の活用
- ・ 地の利を活かした付加価値化
- ・ 集客しやすい所に大型の直売所を設け、厳選した農産物、加工品などを直売所ブランドとして販売

### P R

- ・ 上尾市産(安全・安心等)であることのアピール(発信)
- ・ SNS等の利用
- ・ HPやあげぼた(上尾市ポータルサイト)等を活用したPR
- ・ [上尾市の価値]  
➤都市近郊でこんなにもある自然、たまたま見ることが出来た景色

- 2019 年夏、朝 6 時頃榎本牧場付近で見かけた雲海「ここは本当に上尾なのか」と言葉が出なかった
- 上平地区平塚の浄水場の下、キジの鳴き声を聞きながら走る細い農道
- 各地域の氏神祠探し、そこ各所になかなかの雰囲気がある
- 自転車が気持ちいい(北上尾中心に〈レンタル、市内企業とのタイアップ〉)

- イベント
- ・ 商工会議所や観光協会と連携して、上尾市産の農産物を使用した料理や商品の推奨
  - ・ アグリフェスタ共進会や園芸作上尾一の受賞者に対し、表彰式から一年間使用できる受賞シールや受賞ラベルを配布し商品に付ける
  - ・ ご当地料理コンテストや B 級グルメグランプリなどに出品して、農産物ではなくグルメや土産品の側から知ってもらう
  - ・ 体験と見学

## 2 令和3年度提言

～上尾の農業を魅力(付加価値)あるものへ～

### 提言1 農産物のブランド化・6次産業化

地域の特性を生かした農産物のブランド化を図ることを提案します。

農業者、新規就農者、その他、関係機関等と協力して、農産物や加工品等について協議、検討することで、上尾の特産品を作ることを目指すことが出来ます。また、新しい地域ブランドとなる農産物(例:キウイフルーツ、トマト等)を生産加工する農業者に対し、積極的な支援ができるような体制づくり(例:ブランドの認証制度の導入)をすることで、新規就農者を呼び込むことも期待出来ます。

### 提言2 地産地消の推進

上尾に合った地産地消の推進を提案します。

地域の新鮮な農産物がいつでも手に入る場所があるということを消費者に知ってもらうため、直売所マップの作成を含めた生産者と消費者をつなげる施策を講じることで、積極的に上尾産の農産物を購入しようとする消費者が増えることが期待できます。

### 提言3 地域に密着したイベントの開催

上尾の地域性に合ったイベントを開催することを提案します。

農業に触れてみたいという市民の出現や、買い物難民の発生などに注目して、地域農業に対する潜在的なニーズを調査・研究し、これを基にした上尾市民が積極的に参加したくなるようなイベントを開催・実行することで、消費者と生産者との関係がより深まることが期待できます。

### 提言4 農業の効果的な広報活動

HP や SNS 等を利用した効果的な広報活動を行うことを提案します。

各農家が自ら気軽に情報発信を行うことができるようになるための研修会や、母体作り等を行うことで、機運の醸成が図られ、上尾の農業に対する認知度がアップすることが期待できます。

## 上尾市農業振興検討会議の経過

<p>【平成31年度】 4回開催</p>	<p>上尾の農業が抱えている問題点から、検討テーマを「人」・「付加価値」に決定。平成31年度は「人」に対する提言を行った。</p> <div style="border: 1px solid #0070C0; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%; background-color: #D9E1F2;"> <p style="text-align: center;">「人」への提言</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 新規就農者への積極的な支援</li> <li>2 アグリサポーターの新規就農への活用</li> <li>3 人・農地プランによる集団的な農地の活用</li> <li>4 後継者への積極的支援</li> </ol> </div>
<p>【令和2年度】第1回 (書面開催)</p>	<p>継続テーマである「付加価値」について、前年度に委員より出された提案に対する検討。(書面にて提案に対するご意見等を聴取)</p>
<p>第2回</p>	<p>・「付加価値」についての講演:(株)イトーヨーカ堂上尾駅前店 店長 増淵 一仁氏</p> <p>・「付加価値」についての討議</p>
<p>【令和3年度】第1回 5月31日</p>	<p>・「付加価値」について意見の集約</p> <p>・「人」への提言に対する進捗状況について</p>
<p>第2回 7月21日</p>	<p>・「付加価値」について意見の集約</p> <p>・令和3年度提言書(案)について</p>

上尾市農業振興検討会議・委員(H31～R3)

区分	氏名	役職等
学識経験者	高橋 公敏	元埼玉県農業会議参事
上尾市農業委員会委員	今川 修一	上尾市農業委員会会長
上尾市農業委員会委員	内田 栄作	上尾市農業委員
市内で農業を営む者	市ノ川 利貴	上尾市施設園芸研究会監事
市内で農業を営む者	鈴木 裕一	上尾市花卉園芸研究会監事
市内で農業を営む者	松本 修一	上尾市施設園芸研究会監事
市内で農業を営む者	山根 実	上尾市酪農協会会長
市内で農業を営む者	市村 薫	上尾市農業女性連絡協議会会員
市内で農業を営む者	黒須 裕之	上尾市施設園芸研究会理事
関係団体を代表する者	林 郁夫	埼玉県中央青果(株)会長
関係団体を代表する者	増淵 一仁	(株)イトーヨーカ堂上尾駅前店店長
農業を支援する機関を代表する者	鈴木 委一	JAさいたま北部地区代表理事
農業を支援する機関を代表する者	長島 隆	JAさいたま北部統括部長
関係行政機関の職員	村田 紀子	さいたま農林振興センター 技術普及担当課長
市職員	堀口 慎一	上尾市環境経済部長

おわりに

平成31年度に発足した、上尾市農業振興検討会議は、上尾市の今後の農業を考える重要な会議になりました。

会議では、農業を取り巻く現状、課題の整理を行うとともに、『人』・『付加価値』についての施策について提案させていただきました。

令和4年度以降は、この提案を基にした積極的な取組みと、上尾市産業振興会議の中で継続的な話し合いがなされ、5年後、10年後には、上尾市農業の新しい姿がみられるようになるようご期待申し上げ、結びの言葉といたします。